

# 令和2年度 学校経営計画書

岡山市立足守中学校  
校長 佐藤 幸一

## I 本校のミッション（使命、存在意義）

- 学力（能力）向上に取り組み、生徒一人一人の将来を見据えた適切な進路を保障する。
- あしもり学園としての岡山型一貫教育を推進し、9年間の学びを通して確かな学力（能力）を培う。
- 足守中学校区「未来へつながるプロジェクト（MTP）」（岡山型一貫教育）を推進し、保幼小中・地域社会と連携し自立に向かってたくましく成長する生徒を育成する。
- 郷土に愛着と誇りをもって、社会に貢献する次世代の人材を育成する。

## II 内外の環境分析

### 1 校内環境

- 落ち着いて学習に向かい、授業では分からないことや困ったとき、友達に尋ねたり教えたりするなど協同的な学びが育ってきて、学力向上に繋がっている。
- 学年・学校行事に意欲的に参加し、充実感をもっている。
- 自分で計画を立てての学習、家庭での学習時間、メディアに関わる時間について課題がある。
- 問題が起きたときに自分で解決する力、人間関係を構築する力が不足している。

### 2 校外環境

- 地域・保護者は大変協力的で、地域の自然・文化や人材を生かした教育活動を推進しやすい。
- 地域の行事にボランティアとして参加している生徒の割合が伸びてきた。
- 小規模校移行を見据え、教育課程の見直しと改善、教育活動の見直しを計画的に図る必要がある。

## III ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

守中学校区の教育目標『郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる 人間の育成』

本校の学校教育目標『自然を愛し 自立をめざす 心豊かな 生徒の育成』

本校の目指す生徒像

- 共に学び合い 確かな学力を伸ばす生徒：「学力（能力）を伸ばす生徒」
- 自他を思いやり 心豊かで たくましく生きる生徒：「自分で解決しようとする生徒」
- 郷土（ふるさと）を誇りに思い 地域に貢献できる生徒：「地域に貢献する生徒」

## IV 本年度の具体的な学校経営目標・計画

保幼小中の連続を意識し、自立に向かって成長する子どもの育成を中学校区で推進する。【MTP】

### 1 互いの支え合い・学び合いを大切に、確かな学力を培う。【校内研修、協同学習、まなプロ4年次】

- 「学びの系統表」「協同学習」の考え方を基に、一人一人の生徒が学びを実感できる授業づくりを行う。
- 宿題、自主学習ノートや問題データベースを有効に活用し、主体的な学びと家庭学習の時間確保を図る。
- 生徒の能力を発揮する機会として、各種作品募集、コンクール等に応募する。

### 2 問題や課題を自分で解決していこうとする生徒を育成する。【学級・生徒会活動、総合、道徳、文化祭】

- 学級活動、生徒会活動を中心に、自らの力で課題を解決していく力を育む。
- 総合的な学習の時間を探究的な学びとなるように、まとめや発表する力を育む。
- 将来の夢や職業、進路選択する力、生き方等を主体的に考える力を育む。

### 3 地域を誇りに思い、地域や人のために貢献できる生徒を育成する。【総合、生徒会、部活動】

- 地域交流及び地域素材を活用しESD教育活動、総合的な学習（防災学習）の充実と実践を積み重ねる。
- 地域や学校を支えるボランティア活動などへの社会参画を推進する。
- 生徒の進んで活動する姿や良い行動をしっかり認める。（Good Behavior チケット）

## V 学校像・教職員の姿勢

○ “笑顔・うなずき・拍手のある学校（学園）”

○ 自立に向かって成長する（責任転嫁しない）生徒の育成

学校生活や人間関係等の問題や課題を他者に責任転嫁することなく、自分で解決しようとする力を育てることを意識した関わり方を心掛け、指導を行う。

